

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

北茨城市で

小児甲状腺がん3名

政府が「子ども・被災者支援法」の方針改定で、「検診の対象を（福島県以外に）拡大するつもりはない」と閣議決定したその日（8/25）、北茨城市は独自に実施していた甲状腺検診で3名が甲状腺がんの発症があったことを発表。

国が「福島県意外では必要ない」として支援をしないことから、北茨城市は「福島県いわき市に隣接し保護者の不安が高まっている」として、2013年度から市内のすべての子どもを対象とした甲状腺超音波検査を実施。

2013年度には事故当時4歳以下の1,184人が受診。精密検査を必要とするB判定の子どもが11人（0.9%）いたものの、甲状腺がんと診断された子どもはいなかった。

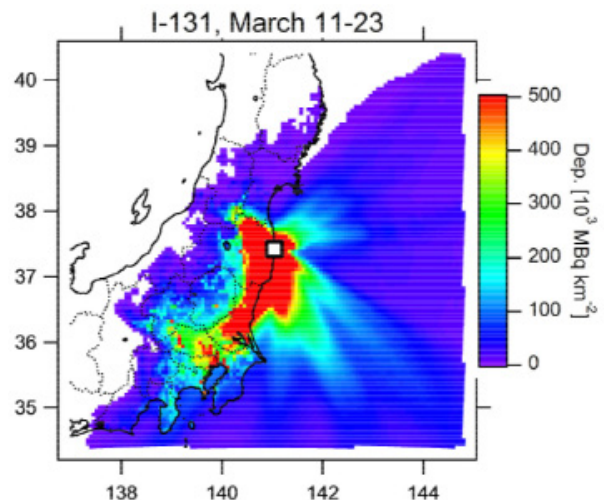
14年度は18歳以下の計6,151人のうち、3,593人が受診。精密検査を必要とするB判定が72人（2.0%）、至急精密検査が必要とされるC判定が2人いた。精密検査をした83人のうち、3人が甲状腺がんと診断された。3人の年齢や性別、腫瘍の大きさなどについてはまだ公表されていません。（内訳、2P）

〇関東での甲状腺検診

生協の組合員のみなさんからたくさんの支援カンパを頂き、茨城・千葉のお母さんたちの力で立ち上げた「関東子ども健康調査支援基金」（事務局：常総生協）では、2013年より事故当時18歳未満の子、延べ3,610名の甲状腺検診を実施してきました。現時点では18歳未満では甲状腺がんは見つかってはいません。

〇福島では104名が甲状腺がん確定

他方、福島県は国の予算で2011年10月より事故当時18才未満の子ども全てを対象に甲状腺の超音波検査が実施されて、これまでに30万人の検診がおこなわれ、甲状腺がんと思われる子どもは137人、そのうち105名が手術し、104名が甲状腺がんと確定されました（2015年6月30日現在。8/31発表）。



国立環境研究所(つくば市)によるヨウ素131沈着シミュレーション(2011.3.11～23)。

福島原発事故による放射性ヨウ素は茨城・千葉・東京にまで及んだことから、関東での子どもたちの検診は引き続き実施し、見守ってゆく必要があります。

北茨城市の甲状腺検診結果（下は汚染の状況）

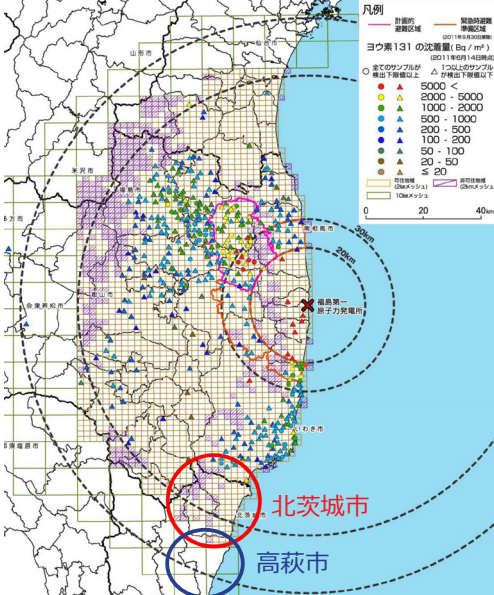
北茨城市の検診結果の内訳は下記の通り。

平成25年・26年度 甲状腺超音波検査実績

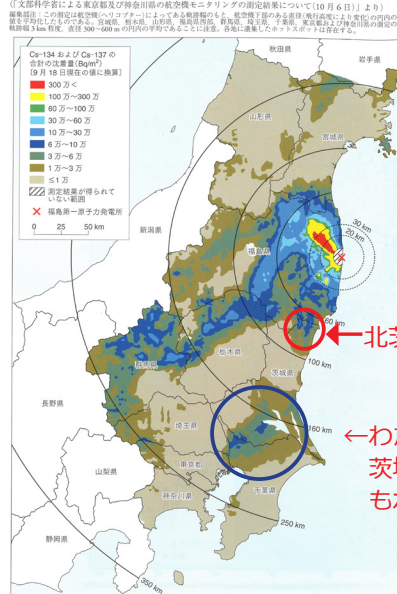
年度	生年月日	事故当時年齢	対象者数	受診者数	実施割合	受診者性別		結果（判定）							
						男	女	A1 (異常なし)		A2 (経過観察)		B (要精密検査)		C (至急要精密検査)	
								人	%	人	%	人	%	人	%
平成25年度	平成18年4月2日～平成23年4月1日	0歳～4歳	1,548	1,184	76.5%	590	594	774	65.4%	399	33.7%	11	0.9%	0	0.0%
平成26年度	平成4年4月2日～平成23年4月1日 ※うち0歳～4歳は昨年度未受診者	0歳～18歳	6,151	3,593	58.4%	1,811	1,782	1,746	48.6%	1,773	49.3%	72	2.0%	2	0.0%
合計			7,699	4,777	62.0%	2,401	2,376	2,520	52.8%	2,172	45.5%	83	1.7%	2	0.0%

●文科省による調査（2011.9.21 左：ヨウ素131 右：セシウム）

ヨウ素131の土壤濃度マップ



地表面へのセシウム 134, 137 の沈着量の合計



このうち83人が精密検査。3名が甲状腺がんと診断された。

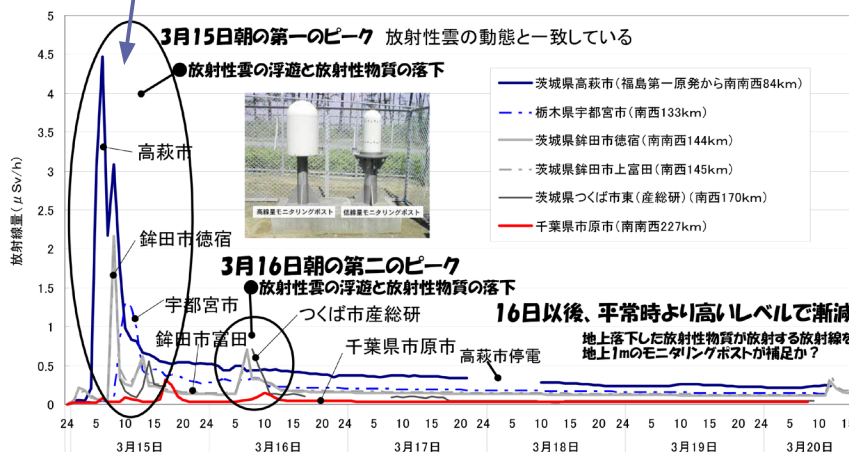
●常総生協 事故直後の速報（2011.3.21）茨城県北部の線量

[COOP JOSO NEWS LETTER 2011]

【震災・原発関連情報(3/20)】 2011.03.21

【福島原発汚染】茨城・栃木・千葉の地上部付近の放射線空間線量の推移比較

3/20、各地のモニタリングポイントのデータを商品部が整理しグラフ化



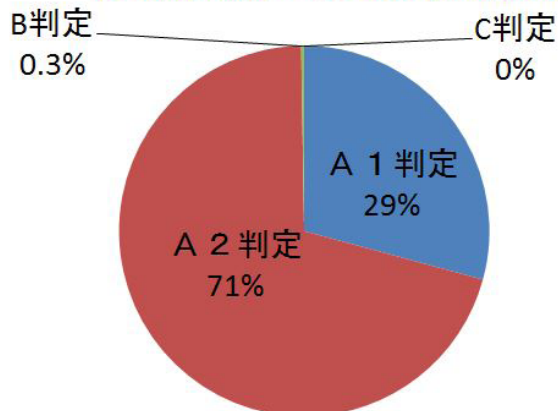
【写真】県北での母乳調査
県北の線量が高かったことから2011年6月、常総生協が高萩・北茨城に伺い、授乳中のお母さんたちに集まってもらって母乳検査。

関東での甲状腺検診の結果は？（関東子ども基金）

【期間】 2013 年 10 月～ 2015 年 7 月

関東での甲状腺検診結果

（事故時18歳以下個人単位/福島判定）



関東での基金検診では2年弱で事故時18歳未満の子は延べ2,717名の検診を実施しました。
18歳未満で甲状腺がんはまだありません。

【福島判定】	【内容】	（解説）
A1 判定	結節・嚢胞を認めないもの。	正常な甲状腺です。
A2 判定	5mm 以下の結節、20mm 以下の嚢胞を認めたもの	小さな結節（しこり）やのう胞（液体の入った袋）が見つかりました。特に心配することはありませんが、経過を観察してゆきましょう。
B判定	5.1mm 以上の結節、20.1mm 以上の嚢胞を認めたもの	精密検査をお勧めします。
C判定	直ちに二次検査を要する	専門医での診断が必要です。

		事故時 18 歳以下	全体
受診状況	受診延べ人数	3,610 人	3,855 人
検診結果	延べ検診結果 2（福島判定）	A 1 判定 1,120 人 A 2 判定 2,463 人 B 判定 11 人 C 判定 0 人 泣いたりして診断できず 16 人	A 1 判定 1,211 人 A 2 判定 2,578 人 B 判定 41 人 C 判定 2 人 診断できず 23 人

10月17日（土）PM1時～常総生協組合員室にて関東での基金検診の「年次報告会」が予定されています。
検診結果の詳細を報告いたします。（関東一円の基金会員、検診団体が集まります）

【福島の子どもたちの状況】 8/31 甲状腺がん手術の結果公表

○従来の60倍強の発生率

福島の子どもたちの甲状腺検診の結果は表紙の通りです。二巡目の本格検査を含めて約 30 万人中、138名の小児甲状腺がんが発生しています。

5/18、「福島県民健康調査」検討委員会は「これまで把握されている統計から推定される有病数に比べて数 10 倍のオーダーで多発」とはじめて明記されました。数 10 倍とは、**実際には「61倍」**とされています。

二巡目の本格検査では、25名が新たに甲状腺がんの疑いとされましたが、先行検査では何もなくA1判定の子10名、のう胞のみの観察A2判定だった子11名が、3年後の検診で「甲状腺がんの疑い」になってしまっています（発症、進行が早いのか？）。

○手術の結果が公表されました

8/31の検討委員会には福島県立医大から子どもたちの手術の結果が提出されました。

それによると、二次検査の結果「悪性ないし悪性疑い」の子104名中97名が福島県立医大で外科手術がおこなわれ、96名が甲状腺がんと確定（93例が乳頭がん、3例が低分化がん）。

「術式」は全摘出が6名、片葉切除90名。術後の「病理診断」では、96例中すでにリンパ節に転移している症例が72例（74%）、甲状腺の被膜の外に浸潤している症例が38例（39%）、肺に遠隔転移している症例が3例。

「術後の合併症はなく予後は良い」となっていますが、何ともかわいそうでなりません。

「二度と子どもたちを被ばくさせない」ために ごいっしょしませんか！

9/17（木）東海第2原発運転差止訴訟第11回口頭弁論

【日時】9月17日（木）14:30 開廷

【場所】水戸地裁 301 号法廷

【集合】13:30 水戸地裁玄関前集合

【日程】13:30 傍聴抽選券配布

14:00 抽選結果発表 14:30 開廷

15:30 ~ 17:00

記者会見・報告会（常陽芸文センター）

【申込】生協からマイクロバスを出します。ごいっしょできる方は、生協本部・協同推進室榎本までご連絡下さい。集合乗車場所等を打合せいたします。

【内容】

映画『日本と原発』が証拠として採用され、法廷で30分版が上映されて、裁判官が「証拠調べ」を行います。

また、裁判の「判断枠組み」について代理人弁護士が弁論します。これは、司法が独立して原発の運転の可否を判断することを求める弁論です（これまでの判決では、国の裁量権を大幅に認めて、司法はその判断に介入しないという判決を繰り返してきた）。

9/20（日）『日本と原発』上映会

弁護士発ドキュメンタリー
映画『日本と原発』上映会



私たちの食料をはじめとした日常生活・子どもや孫たちの将来と原発・放射能の関係を考えるのは、今でしょ!!

と き 2015年 9月20日（日）10:00～

ところ 守谷駅西口徒歩5分の「常総生協 本部2階」

※予約を含め、先着定員70名です。駐車場が隣にあります。

一般 500円（幼児・小学生：無料、高校生：200円）

◇上映：10:00～12:15（9:50までに着席をお願いします）

— 原発稼働に反対の人だけでなく、迷っている方、賛成の方も

一緒に考えるための場にしたいと思います —

主催；守谷平和の会、常総生協、東海第2原発差止訴訟原告団、「日本と原発」を観る

会いばらき の4団体が共催で行います

【お問い合わせ】 マルマチ 090-2156-8861、marumatsi@waltz.ocn.ne.jp 前日まで予約受け付けます



【日時】9月20日（日）10:00 ~ 12:15

【会場】常総生協本部 2F組合員室

【入場料】一般 500 円、高校生 200 円、以下無料

【主催】守谷平和の会、常総生協、東海第2原発差止訴訟原告団、「日本と原発」を見る会いばらき

原発裁判を共にすすめている弁護士さんらが福島現地に入って映画をつくりました。福島原発事故でどれほどの被害、人々の生活の破壊があったか、どのようにして原子力神話がつけられたか、原発事故が起きればとりかえしのつかない被害があることを訴える映画です。ぜひご覧下さい。

9/23（祝）さよなら原発集会

2011 年以後、毎年常総生協としてたくさんの組合員さんもおいっしょに参加しています。

常総生協 + 東海第2原告団 + 関東子ども基金のブースが常設され、脱原発の市民活動の紹介とパンや飲物の販売を行います。ぜひお手伝いかねてごいっしょしませんか！

【日時】9月23日（祝）12:30 ~

【会場】代々木公園B地区・けやき並木

（千代田線・代々木公園駅下車）

常総生協の旗の立つテントに集合



2015年9月23日（祝）秋分の日

代々木公園B地区・けやき並木（千代田線代々木公園駅下車）

12:30 オープニングライブ

13:30 集会 国会 木内みどり

鎌田慧、澤地久枝、落合恵子、河合弘之、福島、川内から

韓国から、戦争法案反対の行動から、沖縄から

15:00 クローゼットトーク&ライブ

式みどり、津田大介、佐藤タイジ（インテリブルック）

15:15 デモ出発

①渋谷コース 渋谷区役所前→渋谷駅前→宮下公園→神宮前

②原宿コース 代々木公園→原宿駅前→表参道→青山通り→神宮前→日本青年館周辺

サブステージA：原発被災者、被ばく労働者のステージ

サブステージB：戦争法案、辺野古新基地建設のステージ

ブース出店あり（出店者募集中）



主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会
内閣府、大塚三郎、国会議員、森田、澤地久枝、瀬戸内寂聴
協力：戦争させない・9条掲げろ！総がかり行動実行委員会
連絡先：さようなら原発 1000万人アクション事務局
東京都千代田区神田錦町3-2-11 連絡先：TEL 03-5289-8224
Email: sayonara-nukes@gmail.com http://sayonara-nukes.org/（「さようなら原発」で検索）